



ハイブリッドワーク環境に向けたセキュリティはCiscoにお任せ！

「クラウドセキュリティ」 DISオリジナル提案ガイド

2025年4月版



企業ネットワークの変化とクラウドセキュリティ

テレワークやクラウドの導入により企業のネットワーク環境は大きく変化しました。
こうした環境では、従来の社内ネットワークだけを守るセキュリティ対策だけでは十分な効果を見込むことができません。

こうした環境の変化に対応するソリューションとしておすすめするのが、
利用場所に関わらずユーザや機密情報を保護できる**クラウドセキュリティ製品**です。

本ガイドでご紹介するクラウドセキュリティ製品



ユーザの意図しないサイトへのアクセスをブロック！

Cisco Umbrella p3



シスコのSASE/SSEソリューション p8



Merakiとの組み合わせでシンプルに導入できるSASE

Cisco Secure Connect p10



ユーザの要件に合わせた柔軟な導入が可能なSSE

Cisco Secure Access p12



社内リソースへの不正アクセスを防止！

Cisco Duo p14



社内端末をマルウェアから保護する！

Cisco Secure Endpoint p18



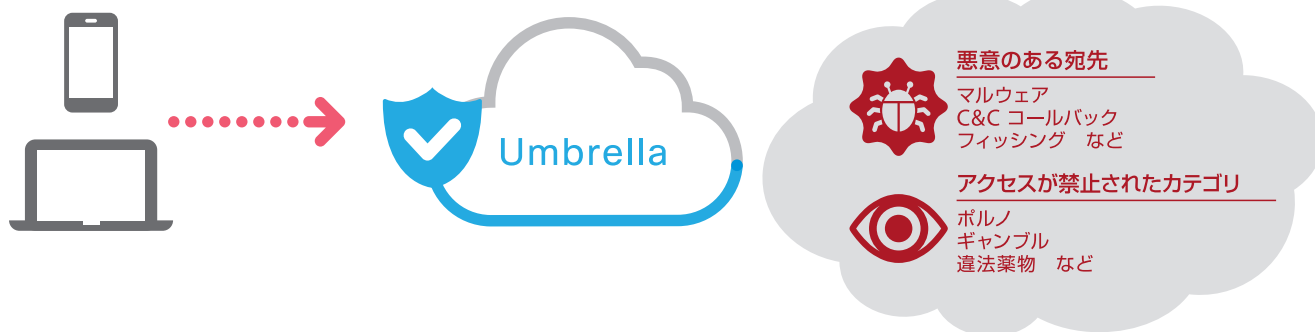
MS365環境の不審なEメールをブロック！

Cisco Secure Email Threat Defense p21

Cisco Umbrella

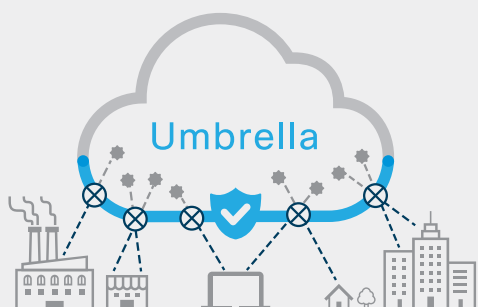
Umbrellaとは？

危険サイトや、利用禁止サイトへのアクセスを防ぐクラウドサービスです。



Umbrellaの提案ポイント

1. テレワーク/リモートワークに最適！



社内/社外を問わずセキュリティを提供

アップデートはクラウド側で行われるため
ユーザの定期的な更新作業が不要

2. クラウドサービスなので導入が簡単！

サーバの増設



ネットワークの変更



リモートアクセスVPN



クラウドサービスなので
すべて不要！

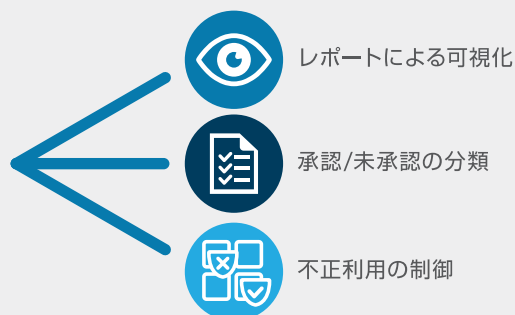
3. アプリケーションの見える化を実現！



大量のリクエストを収集



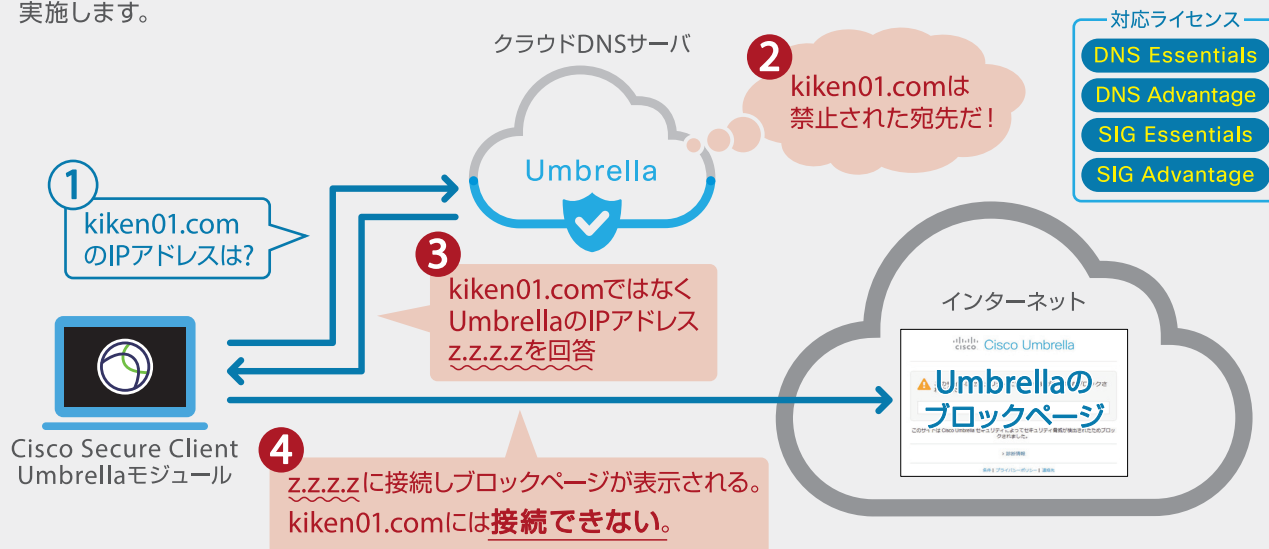
利用アプリケーションを分析



Umbrellaの主な機能

DNSレイヤセキュリティ

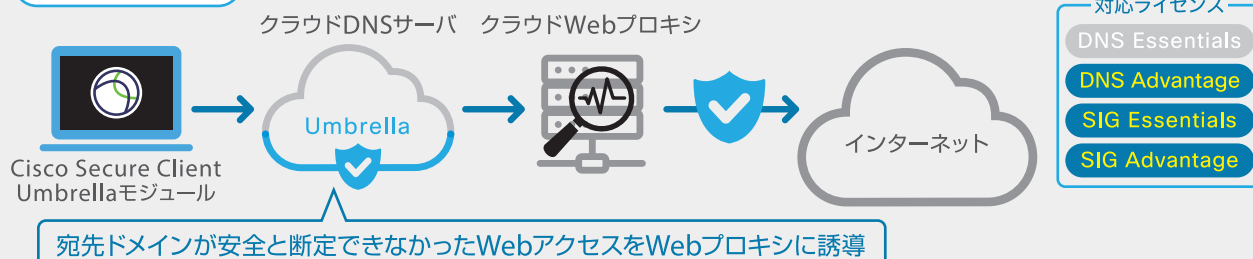
クライアントソフトまたは対応したNWデバイスを使用して、UmbrellaにDNSリクエストを転送し、アクセス制御を実施します。



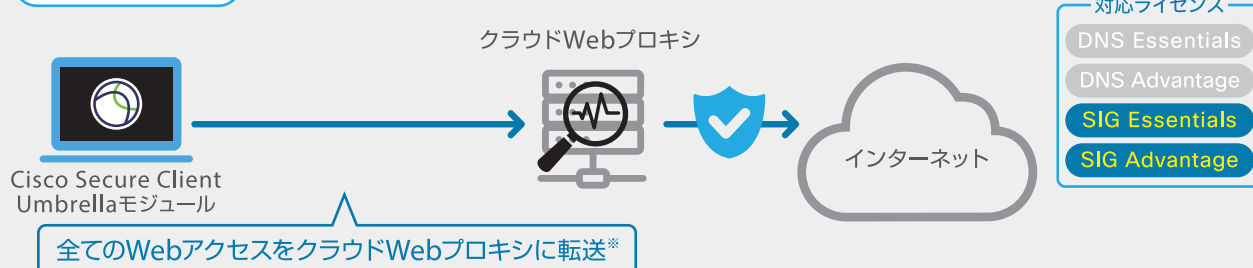
セキュアWebゲートウェイ

WebアクセスをUmbrellaのクラウドWebプロキシ経由とすることでURLの安全性チェックやファイルスキャンを行います。(HTTPS対応)
選択的プロキシとフルプロキシの2つの導入形態があります。

選択的プロキシ



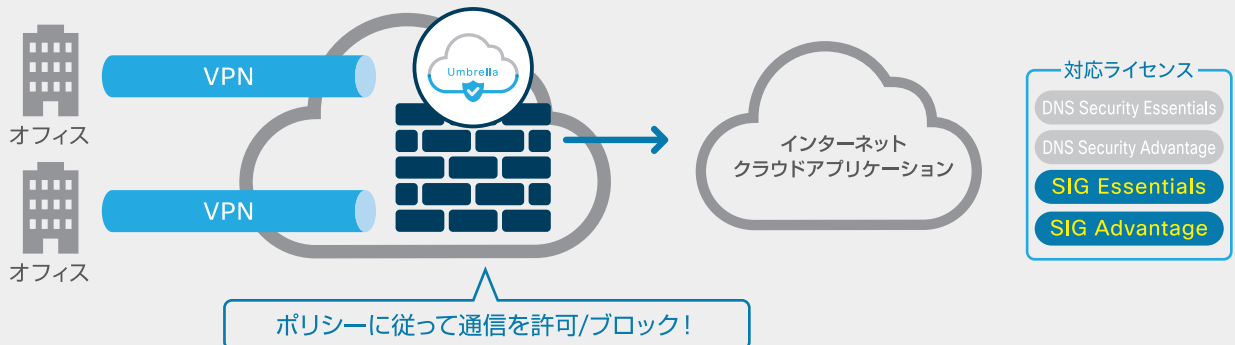
フルプロキシ



※対象となるトラフィックはTCP80/443を宛先とする通信のみです。

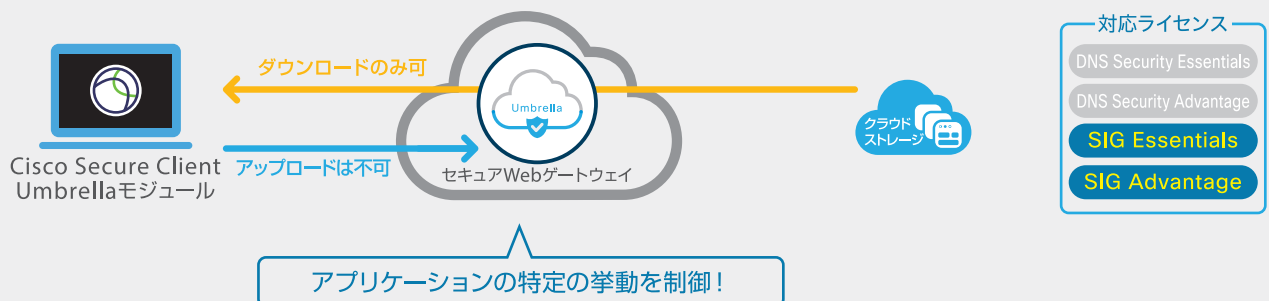
CDFW (Cloud-Delivered Firewall)

クラウド上で動作するL3/L4ファイアウォールです。(SIG AdvantageではL7ファイアウォールとIPS機能も利用可能) 各拠点からの通信をVPN経由でUmbrellaに集約し、一括でポリシーを適用します。



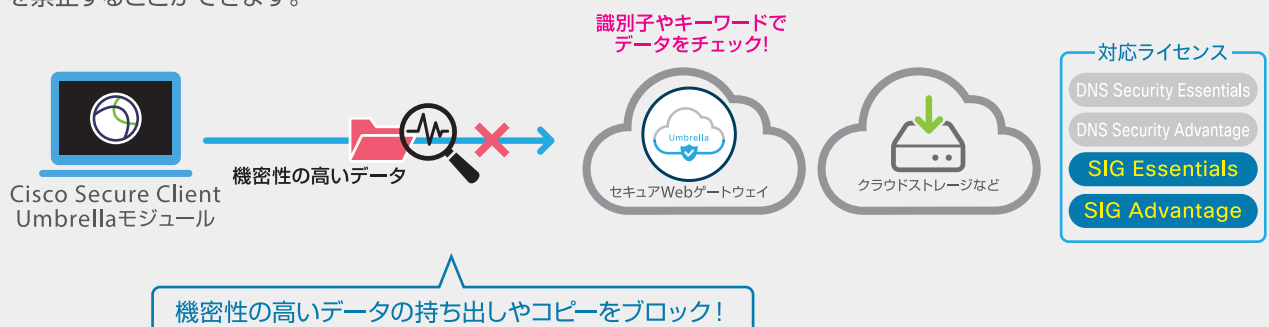
CASB (Cloud Access Security Broker)

クラウドサービスの可視化や制御をすることができる機能で、例えば、オンラインストレージからのダウンロードは許可、アップロードは禁止、といったアプリケーションの特定の挙動を制御することが可能になります。また使用中のアプリケーションのリスト化やリスク分析を行い、高リスクに分類されたアプリケーションのブロックも可能です。



DLP (Data Loss Prevention)

情報漏えいを防ぐことを目的としたシステムで、定義済みの識別子やカスタムキーワードを用いて、特定データがインターネット経由で持ち出されることを防ぎます。これにより、例えば、口座番号などの特定の文字列を含むファイルのやり取りを禁止することができます。



Umbrellaのライセンス

DNS Security Essentials

(型番:UMB-DNS-ESS-K9)

DNSレイヤセキュリティに機能を絞ったシンプルなパッケージ

DNS Security Advantage

(型番:UMB-DNS-ADV-K9)

DNS Security EssentialsにセキュアWebゲートウェイの選択的プロキシ機能を追加したセキュリティ強化版パッケージ

SIG Essentials

(型番:UMB-SIG-ESS-K9)

Webアクセスをクラウド経由としてより詳細なセキュリティを実現するためのパッケージ

SIG Advantage

(型番:UMB-SIG-ADV-K9)

全ての通信をクラウド経由としてより高度なセキュリティを実現するためのパッケージ

簡易機能比較表

	DNS Security Essentials	DNS Security Advantage	SIG Essentials	SIG Advantage
DNSレイヤセキュリティ	●	●	●	●
セキュアWebゲートウェイ(選択的プロキシ)		●	●	●
セキュアWebゲートウェイ(フルプロキシ)			●	●
CDFW(L3/L4)			●	●
CDFW(L7)/クラウドIPS				●

※詳細な比較表については下記リンクをご参照ください。
<https://umbrella.cisco.com/products/umbrella-enterprise-security-packages>

ライセンス数の考え方

<例> 2ユーザが5台のデバイスでDNS Security Essentialsを3年使用する場合

カウント対象



課金対象はユーザなので、購入するパッケージ数は2式。ここに年数を乗算するため、「UMB-DNS-ESS-K9」を「2(ユーザ)×3(年) = 6式」を購入する。

Umbrellaライセンス価格早見表（1式あたりの価格）

※Umbrellaライセンスは最低1ライセンスからご購入が可能です。
 ※購入するユーザ規模と年数によって同じ型番でも価格が変動します。
 ※価格は1ユーザ/年のDIS定価です。

DNS Security Essentials（型番:UMB-DNS-ESS-K9）

同時購入ユーザ数						
1～99	100～499	500～999	1000～4999	5000～9999	10000～24999	25000～
¥9,130	¥7,770	¥5,760	¥5,300	¥4,570	¥4,380	¥4,120

DNS Security Advantage（型番:UMB-DNS-ADV-K9）

同時購入ユーザ数						
1～99	100～499	500～999	1000～4999	5000～9999	10000～24999	25000～
¥13,700	¥11,650	¥8,630	¥7,960	¥6,860	¥6,580	¥6,170

SIG Essentials（型番:UMB-SIG-ESS-K9）

同時購入ユーザ数						
1～99	100～499	500～999	1000～4999	5000～9999	10000～24999	25000～
¥18,270	¥15,530	¥11,510	¥10,590	¥9,130	¥8,770	¥8,220

SIG Advantage（型番:UMB-SIG-ADV-K9）

同時購入ユーザ数						
1～99	100～499	500～999	1000～4999	5000～9999	10000～24999	25000～
¥28,040	¥23,830	¥17,660	¥16,260	¥14,020	¥13,460	¥12,620

Umbrellaのサポートパッケージ

Umbrellaのライセンス購入には、上記ライセンスパッケージと別に
 下記の有償サポートの購入が必須です。

Solution Support for Umbrella（型番:SVS-UMB-SUP-S）

価格：購入するUmbrellaパッケージ合計価格の10%

提供されるサポート

平日9時～17時のメール / 電話サポート（日本語サポート）

※緊急性の高いケースのみ24時間365日のサポートとなります。

※より高度なサポートを提供するPremiumサービスもございます。詳しくは下記URLをご参照ください。
<https://umbrella.cisco.com/products/umbrella-enhanced-support-packages>

シスコのSASE/SSEソリューション

Cisco社ではSASE/SSEを実現するソリューションとしてCisco Secure ConnectとCisco Secure Accessという2つの製品を展開しています。

どちらの製品もUmbrellaをベースとしたインターネットセキュリティに加えて、VPNやZero-trust Access(ZTA)によるクラウドを経由したプライベート環境へのアクセスを提供します。



Cisco Secure ConnectとCisco Secure Accessでは、ターゲットとなるユーザ規模やユーザインターフェイスに差分があり、お客様のユースケースに合わせてご選定いただくことが可能です。

シンプルに運用したい中小企業様は
Cisco Secure Connect

SASE

Cisco Secure Connect

- ・UmbrellaとMerakiを融合させた上にVPNaaS,ZTNAも実装
- ・Meraki MXと統合されたシンプルな運用管理

多様な要件を持つ大企業様は
Cisco Secure Access

SSE

Cisco Secure Access

- ・Umbrellaをもとに最新テクノロジーで作り直した最上位版
- ・より柔軟なリモートアクセスに対応

	Secure Connect	Secure Access
インターネットアクセスの保護	✓	✓
クラウドをHubとしたサイト間VPN	✓	✓
クラウドでのリモートアクセスVPN提供	✓	✓
Client-based ZTA	✓	✓
Browser-based ZTA	✓	✓
最小購入数 (課金対象: ユーザ)	1ユーザから	100ユーザから
拠点からクラウドへのVPNスループット	最大500Mbps	最大1Gbps※1
トンネル数上限	5000	制限なし
リモートアクセスVPN接続の認証プロトコル	SAML	SAML / RADIUS
SD-WAN機能※2	✓	
柔軟なリモートアクセスポリシー※3		✓
リソースコネクタによる接続※3		✓
管理画面(GUI)	Merakiダッシュボード	Secure Accessダッシュボード
サポート	Meraki TAC	JAPAN TAC

※1 1Gbpsはトンネル当たりのスループット。ECMPにより最大10トンネルでの負荷分散が可能。

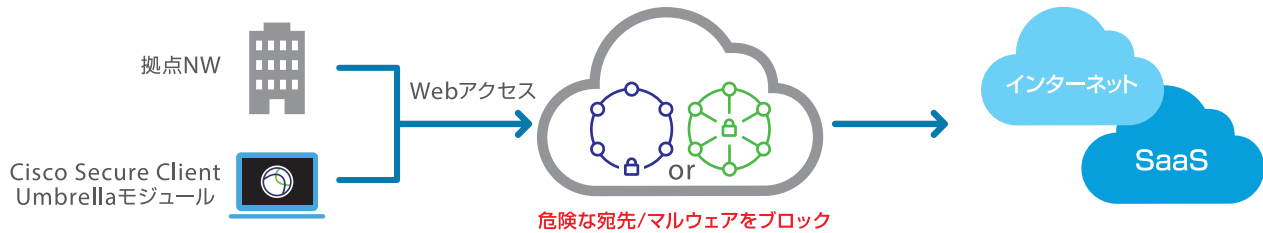
※2 詳しくは10ページをご参照ください。

※3 詳しくは12ページをご参照ください。

Cisco Secure Connect / Cisco Secure Accessのユースケース

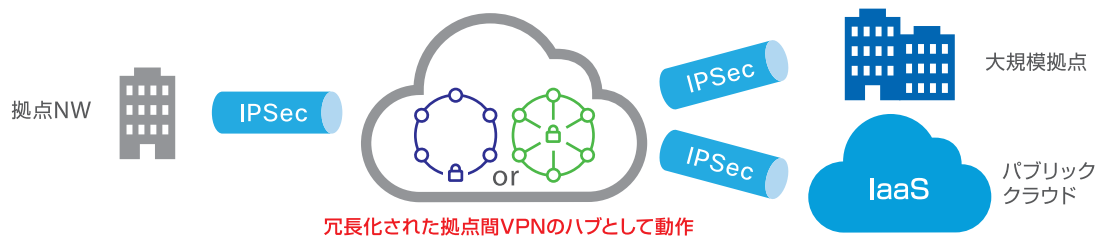
■インターネットアクセスの保護

ユーザの場所に関係なく、危険な宛先へのアクセスやマルウェアのダウンロードを防止



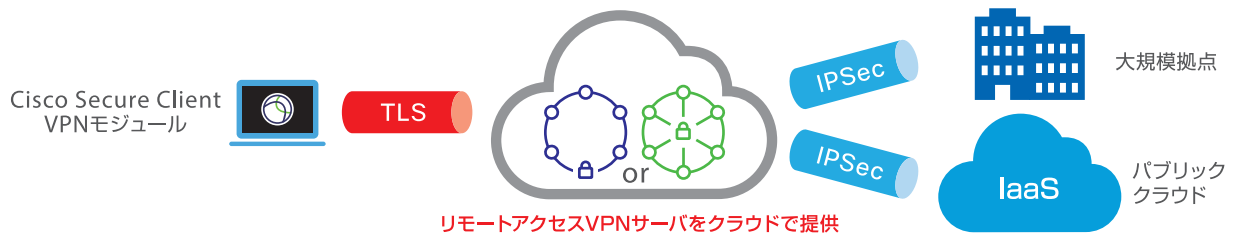
■クラウドをハブとしたサイト間VPN

複数リージョンを使用したVPNハブの冗長化と、クラウドFWによる一元的なアクセス管理



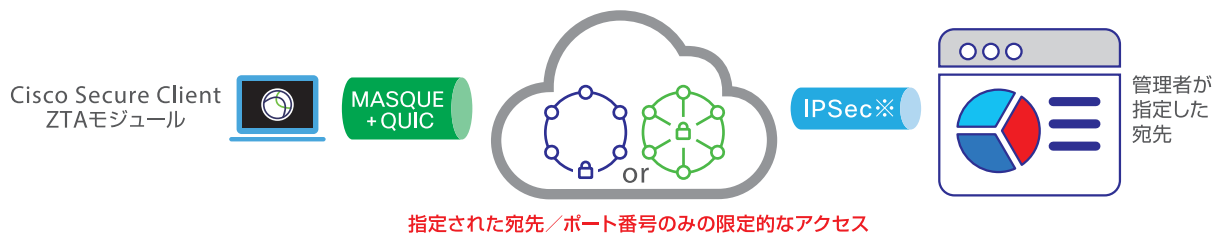
■クラウドでのリモートアクセスVPN提供 (VPNaaS)

脆弱性に関する対応が不要で、安全なリモートアクセスVPNを提供



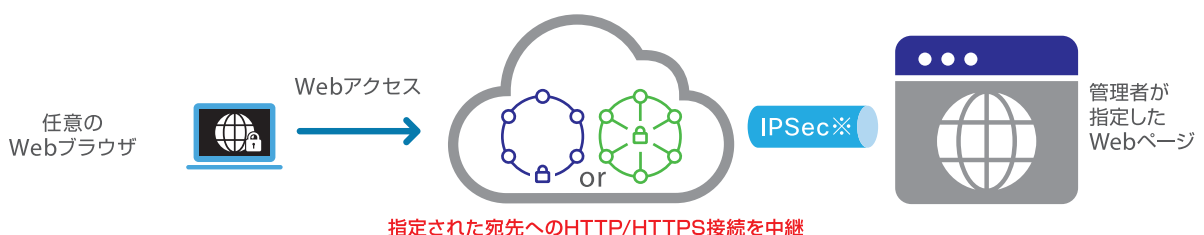
■Client-based ZTA

管理者が許可したユーザに対して指定された宛先へのプライベートアクセスを提供



■Browser-based ZTA

クライアントのインストール不要でプライベート環境へのWebアクセスを提供

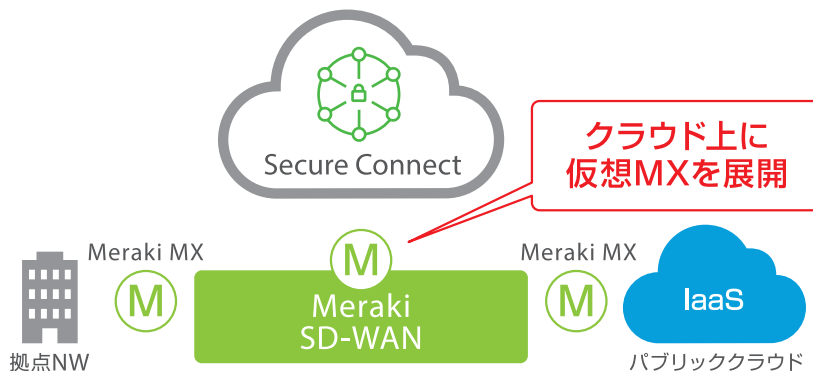


※Secure Accessで導入の場合のみResource Connectorの利用が可能です。詳しくは12ページをご参照ください。

Cisco Secure Connect

Secure Connectの特長

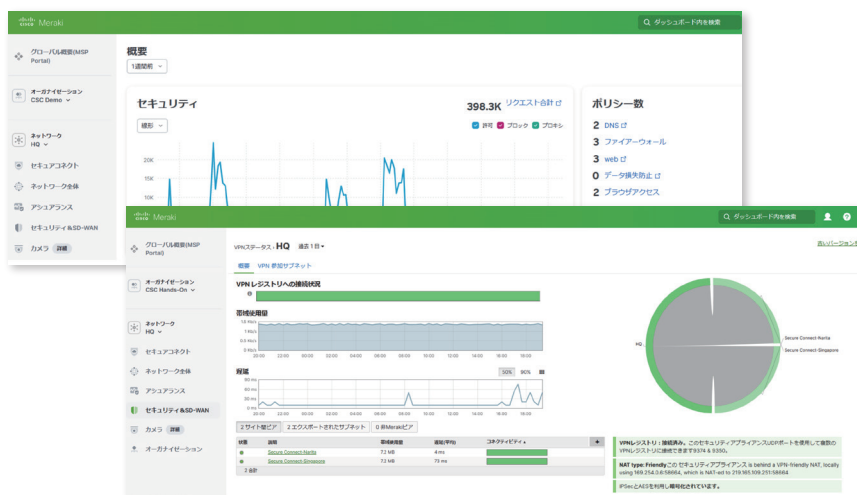
■Meraki MXシリーズによるSD-WANを組み込みで提供



<おすすめポイント>

- ・拠点とのVPN接続をわずか数クリックで展開できる
- ・Secure Connectの日本リージョン障害時には自動的にシンガポールへ切り替わり
- ・拠点側の複数回線を使用した冗長化や負荷分散も手間をかけずに実現

■Merakiダッシュボードによる一元管理と直感的な操作



<おすすめポイント>

- ・拠点NWとクラウドセキュリティを同じ画面で管理可能
- ・Meraki TACによる一気通貫でのサポート体制
- ・日本語GUIで操作も簡単

■最小1ユーザからの購入が可能で中小規模ユーザにも提案しやすい



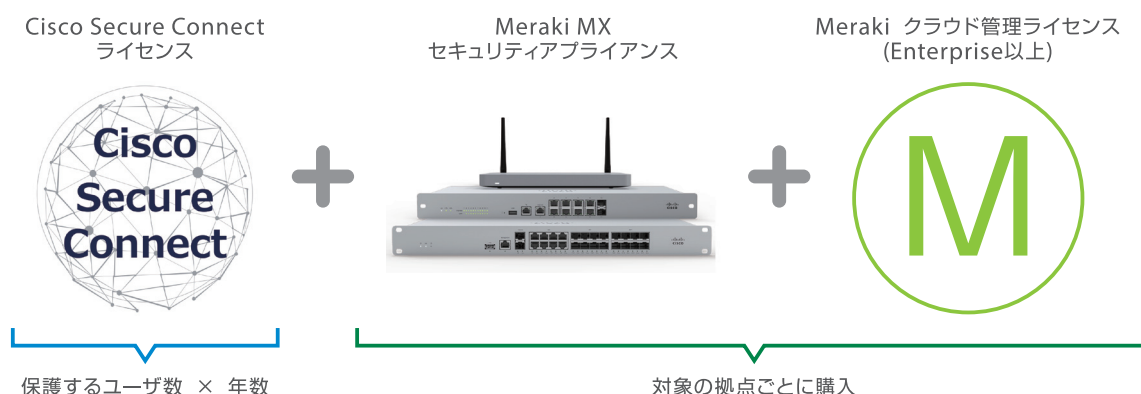
<おすすめポイント>

- ・最小1ユーザからの購入が可能。
- ・ユーザライセンスのみのシンプルなライセンス体系
- ・遠隔での操作が可能で、管理工数を大幅に削減可能

Secure Connectのライセンス

■ライセンス数の考え方

Cisco Secure ConnectのライセンスはUmbrellaと同様保護対象となるユーザ数分購入します。また、対象拠点に対してMeraki MXを導入することで、Meraki SD-WAN機能が利用できます。



■機能比較表

Cisco Secure Connectには4種類のパッケージがあります。

原則的に、Secure Connectで保護されるユーザ毎に1つのライセンスが必要です。同一組織内でFoundationのユーザとCompleteのユーザの混在が可能ですが、Essentials/Advantageは揃えて頂く必要があります。(混在の場合: Foundation Essentials + Complete Essentials もしくは Foundation Advantage + Complete Advantage)

	Foundation		Complete	
	Essentials	Advantage	Essentials	Advantage
インターネットアクセスの保護				
Secure Web Gateway	✓	✓	✓	✓
URLフィルタリング	✓	✓	✓	✓
Secure Malware Analytics:	✓	✓	✓	✓
Sandbox 検査数	500	無制限	500	無制限
Cloud Access Security Broker	✓	✓	✓	✓
Cloud Malware Detection:	2アプリまで	全てのアプリを利用可	2アプリまで	全てのアプリを利用可
DNS-Layer Security	✓	✓	✓	✓
L3 Cloud-Delivered Firewall	✓	✓	✓	✓
L4 Cloud-Delivered Firewall	✓	✓	✓	✓
L7 Cloud-delivered Firewall		✓		✓
クラウドIPS		✓		✓
クラウドベースのプライベートアクセス				
サイト間VPN	✓	✓	✓	✓
VPNaaS(リモートアクセスVPN)			✓	✓
ZTNAアクセス クライアントベース			10アプリまで	300アプリまで
ZTNAアクセス ブラウザベース			10アプリまで	300アプリまで
価格				
型番	PL-SECON-FN-ESS-K9	PL-SECON-FN-ADV-K9	PL-SECON-ESS-K9	PL-SECON-ADV-K9
1ユーザ/1年あたりの価格 ※	¥20,090	¥30,850	¥31,350	¥54,850

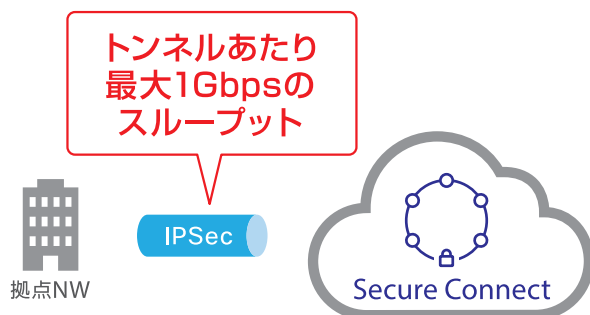
※価格は2025年3月時点のDIS定価です。

※表に掲載した価格は最も高価になる条件での価格です。ユーザ数や購入年数によってライセンスの単価が下がります。

Cisco Secure Access

Secure Accessの特長

■大規模ユーザも収容可能な大容量アクセス



<おすすめポイント>

- ・大規模拠点への展開にも対応できる高速なスループット
- ・ECMPによる最大10トンネルまでの負荷分散もサポート
- ・サードパーティー製VPNルータとの接続を含めた柔軟な構築をサポート

■柔軟なリモートアクセスVPNポリシー

	Secure Access	Secure Connect
証明書認証	✓	—
Always-on VPN	✓	—
マルチVPNプロファイル	✓	—
複数IPアドレスプールのサポート	✓	—
ポスチャプロファイル	8項目	5項目
外部ブラウザ認証	✓	—
Radius認証	✓	—
複数IDPとの連携	✓	—

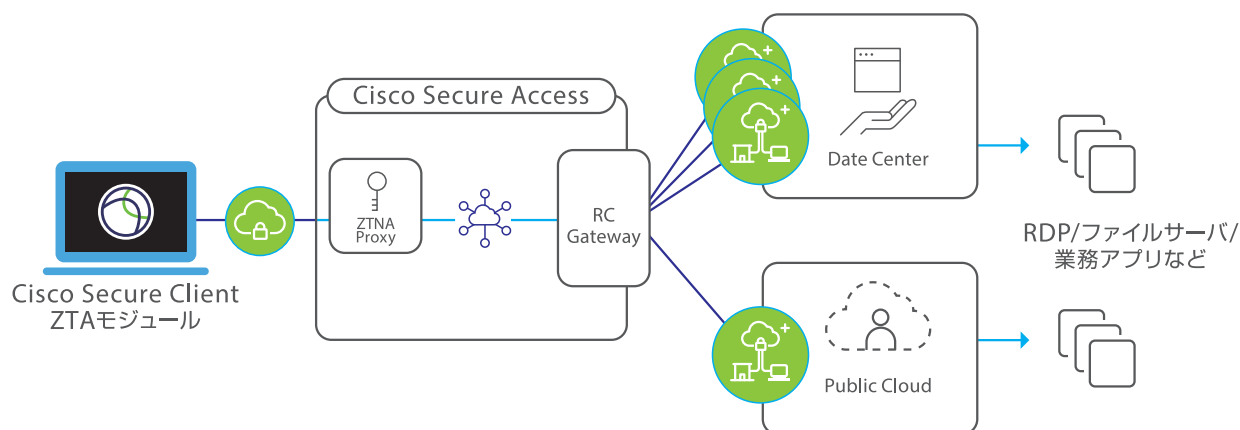
<おすすめポイント>

- ・Secure Connectと比較して様々な機能をサポート
- ・既設ASAからのリブレースにも提案しやすい

■リソースコネクタを使用したVPNレスアクセスの展開をサポート

<おすすめポイント>

- ・ESXi/クラウドインスタンス/Docker で展開可能なリソースコネクタを使用することで、VPNルータ無しで社内リソースへのアクセスを実現できます。
- ・クライアントPCへZTAモジュールをインストールすることで、ユーザは管理者が指定した対象へのみアクセス可能。



Secure Accessのライセンス

■ライセンス数の考え方

Cisco Secure Accessの導入時にはユーザ毎に次の2つのライセンスをご購入いただきます。

■Secure Internet Access (SIA)

Secure Accessを使用して、インターネット向けの通信を保護するためのライセンス。

■Secure Private Access (SPA)

Secure Accessを使用して、アプリケーションや各サーバへアクセスするためのライセンス。

Secure Connectとは異なり、Secure Access上ではSD-WAN機能は提供されないため、拠点NWの接続には別途IPSec VPNやBGPIに対応したVPNルータをご用意ください。



■Secure Accessライセンス価格早見表

Cisco Secure Accessには4種類のパッケージがあります。

SIAとSPAのそれぞれについて利用するユーザ数分のライセンスが必要です。SIAとSPAをどちらも購入する場合、Essentials/Advantageはそれぞれ揃えて頂く必要があります。

(SIAとSPAをどちらも購入する場合：SIA Essentials + SPA Essentials もしくは SIA Advantage + SPA Advantage)

	SIA		SPA	
	Essentials	Advantage	Essentials	Advantage
インターネットアクセスの保護				
Secure Web Gateway	✓	✓		
URLフィルタリング	✓	✓		
Secure Malware Analytics:	✓	✓		
Sandbox 検査数	500	無制限		
Cloud Access Security Broker	✓	✓		
Cloud Malware Detection:	2アプリまで	全てのアプリを利用可		
DNS-Layer Security	✓	✓		
L3 Cloud-Delivered Firewall	✓	✓		
L4 Cloud-Delivered Firewall	✓	✓		
L7 Cloud-delivered Firewall		✓		
クラウドIPS		✓		
RBI	危険なサイトのみ	✓		
クラウドベースのプライベートアクセス				
サイト間VPN			✓	✓
VPNaaS(リモートアクセスVPN)			✓	✓
ZTNAアクセス クライアントベース			10アプリまで	300アプリまで
ZTNAアクセス ブラウザベース			10アプリまで	300アプリまで
価格				
型番	SA-SIA-ESS-K9	SA-SIA-ADV-K9	SA-SPA-ESS-K9	SA-SPA-ADV-K9
1ユーザ/1年あたりの価格 ※	¥17,080	¥26,220	¥20,950	¥48,840

※価格は2025年3月時点のDIS定価です。

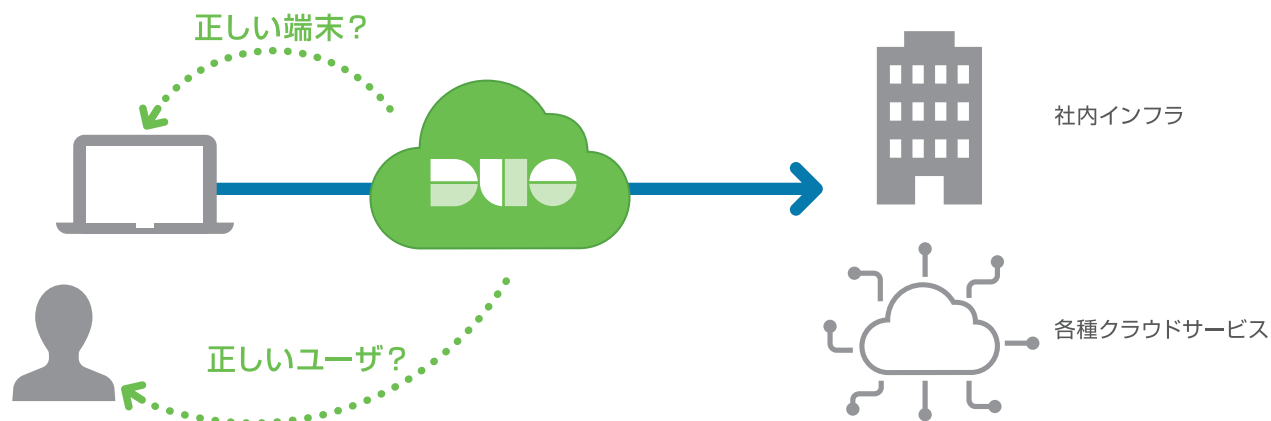
※表に掲載した価格は最も高価になる条件での価格です。ユーザ数や購入年数によってライセンスの単価が下がります。

※各ライセンスの最小購入数は100ユーザからとなります。

Cisco Duo

Cisco Duoとは？

接続先のネットワークに依存せず、端末やユーザが信頼できるものかを識別するためのクラウドサービスです。



Cisco Duoの主な機能

多要素認証によるユーザの識別



多要素認証

知識要素

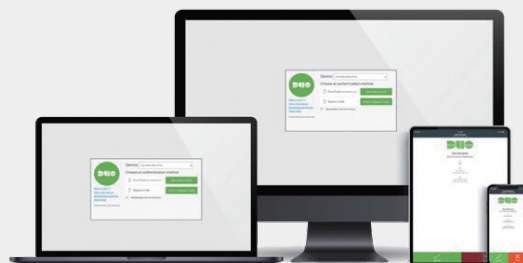
所有要素

生体要素

- ・ Duo Push 通知
- ・ モバイルパスコード
- ・ 電話へのコール
- ・ SMS
- ・ HOTP トークン
- ・ U2F / WebAuthn(生体認証)
- ・ 緊急時のバイパスコード発行

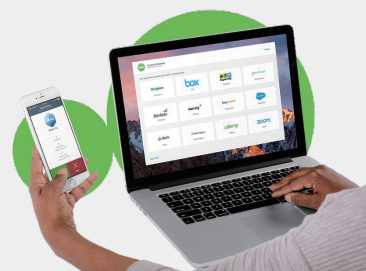
アクセス端末の信頼性評価

- ・ 管理デバイスかどうかを検査
 - ・ 危険なデバイスを監視
 - ・ 古いバージョンのOSやブラウザの通知
 - ・ Anti-Virus/Anti-Malwareの検査*
- *Premierライセンスが必要です。



内部リソースへのセキュアなVPNレスアクセス

- ・ 1つのダッシュボードから全てのアプリケーションへ簡単にアクセス
- ・ VPNレスで一貫したセキュリティ制御
- ・ 全てのクラウドアプリケーションがセキュアに



Cisco Duoの利用イメージ

①MFA (多要素認証)

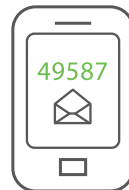
Duoによる多要素認証では、スマートフォンやトークンといった第二の要素を使い本人確認を行うことで、パスワード漏えいによる不正アクセスを防ぎます。



ソフトウェア
トークン



ハードウェア
トークン



SMS



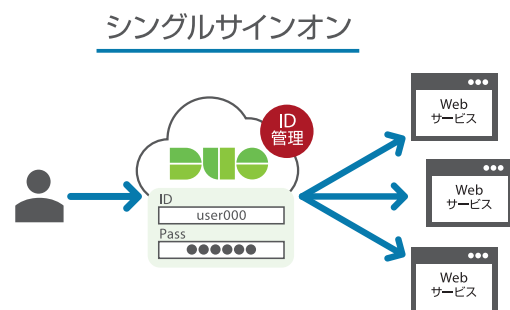
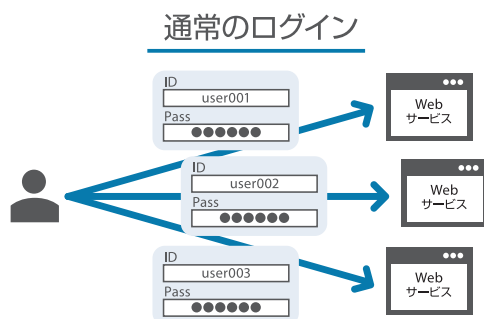
コールバック



生体認証

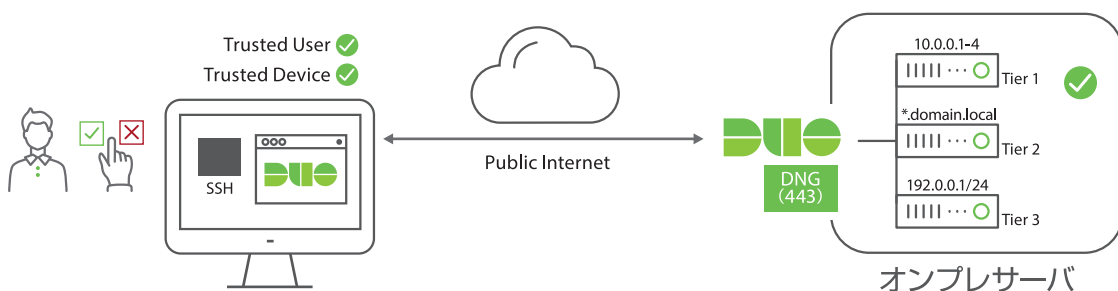
②SSO (シングルサインオン)

一度Duoで認証を行うと、連携先のWebサービスはサインオン不要で利用することが可能になります。Webサービス毎にパスワードを管理したり、都度サインオンを行う煩雑さを軽減することが可能です。

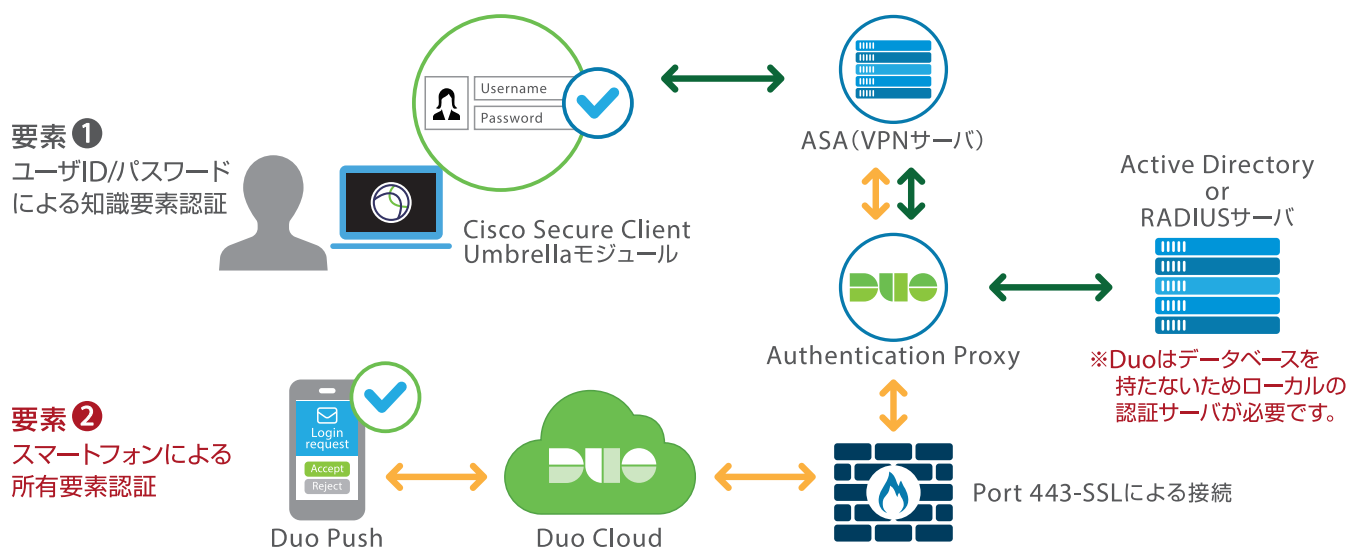


③VPNレスアクセス

リモートアクセスVPN不要で 社内リソースへの安全なアクセスを提供します。ユーザはDuoが提供するポータルページにログインすることで、管理者が指定したアプリケーションを利用可能です。



MFA導入時のCisco Duo導入イメージ



Cisco Duoのライセンス

Duo Essentials

(型番: DUO-ESSENTIALS)

- 多要素認証(MFA)
- シングルサインオン(SSO)
- パスワードレス認証
- 信頼できるエンドポイントの検証
- デバイスの可視化
- 許可されたネットワーク
- 無制限のアプリケーション統合
- ユーザーグループポリシー

Duo Advantage

(型番: DUO-ADVANTAGE)

- Duo Essentialsの全ての機能
- Cisco Identity Intelligence
- Duo Passport
- リスクベース認証
- デバイスの健全性チェック
- アダプティブアクセスポリシー
- 機械学習による脅威検出
- 包括的なレポート機能

Duo Premier

(型番: DUO-PREMIER)

- Duo Advantageの全ての機能
- VPNレスアクセス
- エンドポイント保護のチェック

簡易機能比較表

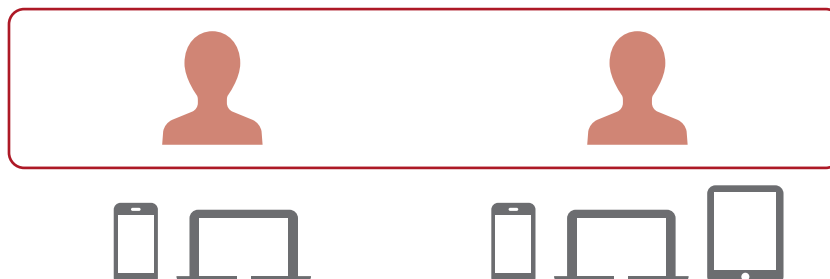
	DUO-ESSENTIALS	DUO-ADVANTAGE	DUO-PREMIER
MFA・SSO	●	●	●
アクセス端末の信頼性評価		●	●
内部リソースへのセキュアなVPNレスアクセス			●

※詳細な比較表については下記リンクをご参照ください。
<https://duo.com/editions-and-pricing>

ライセンス数の考え方

<例> 2ユーザが5台のデバイスでDuo Essentialsを3年使用する場合

カウント対象



➔ 課金対象はユーザなので、購入するパッケージ数は2式。ここに年数を乗算するため、「DUO-ESSENTIALS」を「2(ユーザ)×3(年) = 6式」を購入する。

Duo ライセンス価格早見表 (1式あたりの価格)

※Duoライセンスは最低1ライセンスからご購入が可能です。
 ※購入するユーザ規模によって同じ型番でも価格が変動します。
 ※価格は1ユーザー/年のDIS定価です。

ライセンス型番	同時購入ユーザ数		
	1~999	1000~9999	10000~
Duo Essentials (型番:DUO-ESSENTIALS)	¥6,090	¥5,760	¥5,070
Duo Advantage (型番:DUO-ADVANTAGE)	¥12,180	¥11,150	¥10,150
Duo Premier (型番:DUO-PREMIER)	¥18,270	¥17,250	¥15,220

Cisco Duoのサポートパッケージ

Cisco Duoのライセンス購入時には、下記の無償サポートが付属します。

Duo Basic Support (型番:SVS-DUO-SUP-B)

価格: 無償

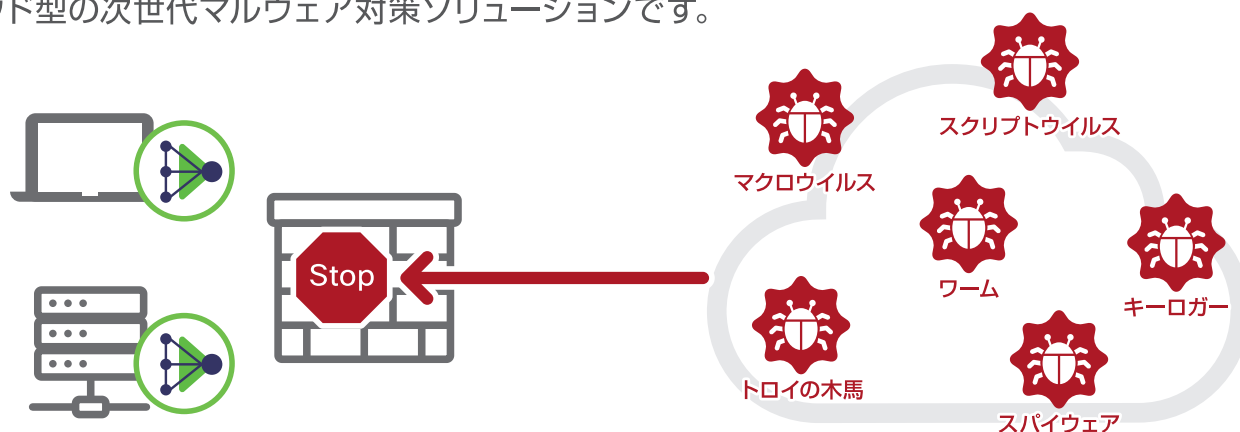
提供されるサポート ➤ 電話とEメールによる平日9時~17時のサポート(日本語対応)

※より高度なサポートを提供するDuo Careプレミアムサービスもございます。詳しくは下記URLをご参照ください。
https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/duo/support/duo-care.html

Cisco Secure Endpoint

Cisco Secure Endpointとは？

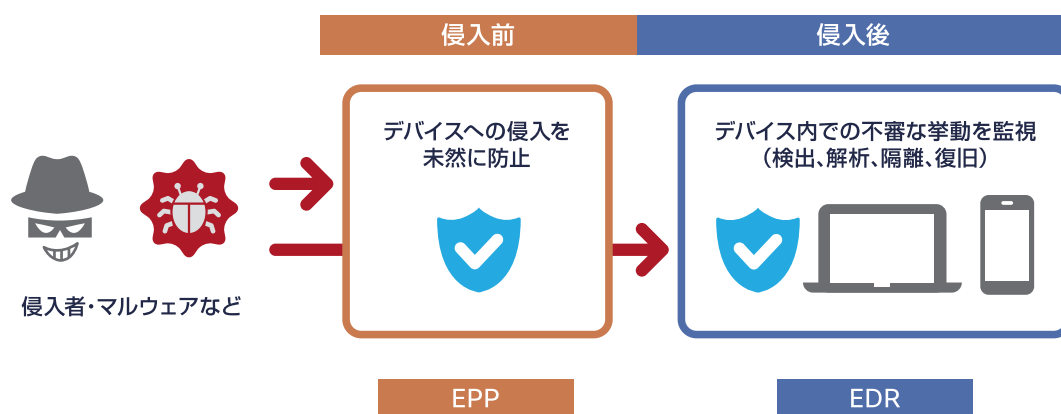
PCやサーバなどのエンドポイントにインストールして使用するクラウド型の次世代マルウェア対策ソリューションです。



EPPとEDRを同時に実現するCisco Secure Endpoint

エンドポイントセキュリティには、マルウェアをブロックして感染を防ぐEPP (Endpoint Protection Platform) という仕組みが従来から利用されてきました。

EPPはもちろん重要な要素ですが、近年では万が一マルウェアがEPPをすり抜けた場合に備えて、侵害発生を迅速に検出、解析、および対応するためのEDR (Endpoint Detection & Response) という仕組みの重要性が注目されています。



Cisco Secure EndpointではEPP/EDRの両方を一括して導入することが可能です。

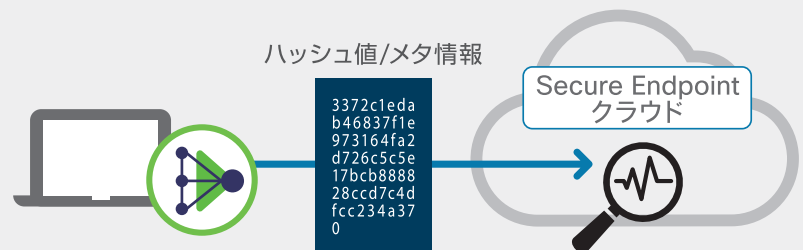


Cisco Secure Endpointの主な機能

ハッシュエンジンを使用したマルウェア検出

EPP(NGEPP)

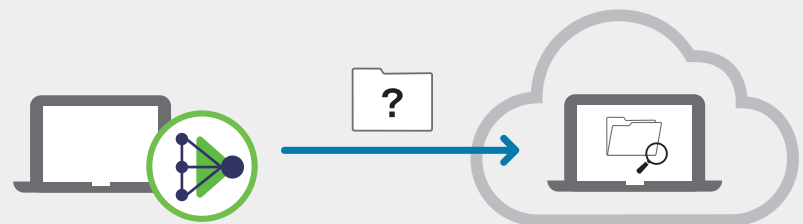
クライアント側は対象ファイルのハッシュ値を生成しクラウドに送付。マルウェア検出はクラウド側で実施するため、動作が非常に軽量で新しい脅威への対応が迅速。



クラウドサンドボックス

EPP(NGEPP)

脅威データベースに情報がない不審なファイルは、Threat Gridというクラウドサンドボックス上の仮想OSで実際にマルウェアを実行してテスト



インシデント・レスポンス

EDR

デバイス トラジェクトリ 感染原因を特定

- ・マルウェア ファイルはどのようにシステムへ入ってきたのか？
- ・どのような通信をおこなったのか？



ファイル トラジェクトリ 感染範囲を特定

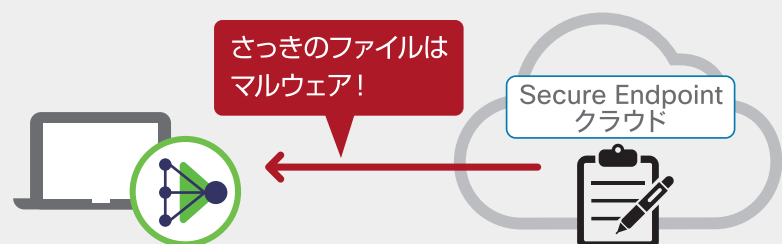
- ・最初に感染したのは誰か？
- ・現在そのマルウェアはどのシステム上に存在するのか？



クラウドリコール(過去に遡った調査)

EDR

ダウンロード時にマルウェアが検出されなかったファイルが後からマルウェアと判明した場合、該当するファイルを暗号化された領域に隔離します。



Cisco Secure Endpointのライセンス

Secure Endpoint Essentials

(型番: AMP4E-CL-LIC)

- ・マルウェア対策
- ・アプリケーション制御
- ・動的ファイル分析
- ・振る舞いモニタリング
- ・脆弱性の特定
- ・エンドポイントの隔離

Secure Endpoint Advantage

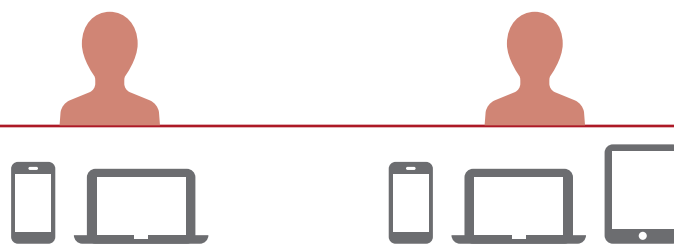
(型番: AMP4E-ADV-CL-LIC)

- Essentialsの全ての機能
- ・Orbital Advanced Search
(高度なセキュリティ調査と脅威の追跡)
 - ・Threat Grid クラウド(独自のセキュリティ分析)

ライセンス数の考え方

Cisco Secure Endpointはインストールするデバイス台数分のサブスクリプションライセンスを購入します。
<例> 2ユーザが5台のデバイスでSecure Endpoint Essentialsを3年使用する場合

カウント対象



➔ 課金対象はデバイスなので、購入するライセンス数は5式。ここに年数を乗算するため、「AMP4E-CL-LIC」を「5(デバイス)×3(年)=15式」を購入する。

Secure Endpointライセンス価格早見表

※Secure Endpointライセンスは最低1ライセンスからご購入が可能です。

※購入するデバイス数によって同じ型番でも価格が変動します。

※価格は1デバイス/年のDIS定価です。

Secure Endpoint Essentials (型番: AMP4E-CL-LIC)

同時購入デバイス数						
1~99	100~499	500~999	1000~4999	5000~9999	10000~24999	25000~
¥15,830	¥13,390	¥10,230	¥9,380	¥8,040	¥5,480	¥4,260

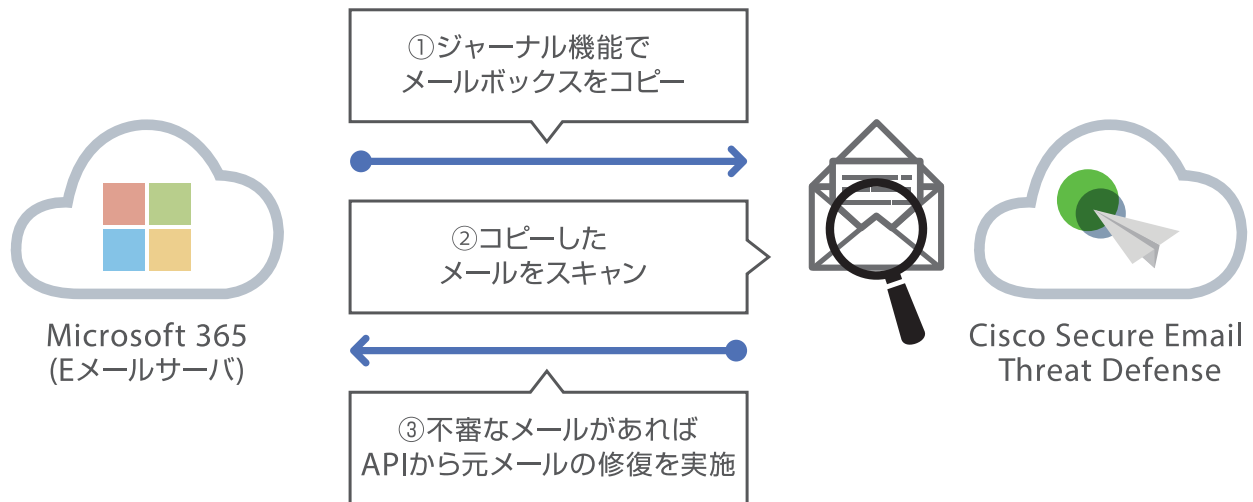
Secure Endpoint Advantage (型番: AMP4E-ADV-CL-LIC)

同時購入デバイス数						
1~99	100~499	500~999	1000~4999	5000~9999	10000~24999	25000~
¥19,000	¥16,760	¥13,810	¥13,130	¥12,050	¥9,590	¥8,520

Cisco Secure Email Threat Defense

Cisco Secure Email Threat Defenseとは

Microsoft 365環境に特化したEメールセキュリティのソリューションです。Emotet・ランサムウェア・フィッシング・ビジネスメール詐欺(BEC)などEメールを媒体とする脅威を検出し、隔離などの修復処理を行います。



Cisco Secure Email Threat Defenseの特徴

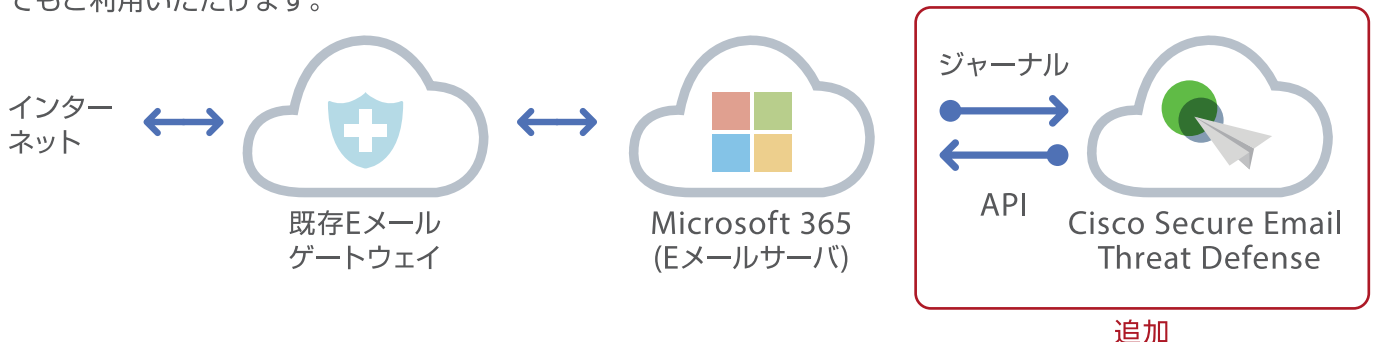
迅速な導入

既存のメール環境を変更する必要が無く、2ステップ 5分ほどの簡単な設定ですぐに使い始めることが可能です。



既存のEメールゲートウェイ製品との併用も可能

単独での利用はもちろん、既存のEメールゲートウェイ製品と組み合わせてセキュリティ強度を向上させる用途でもご利用いただけます。



Cisco Secure Email Threat Defenseの機能概要

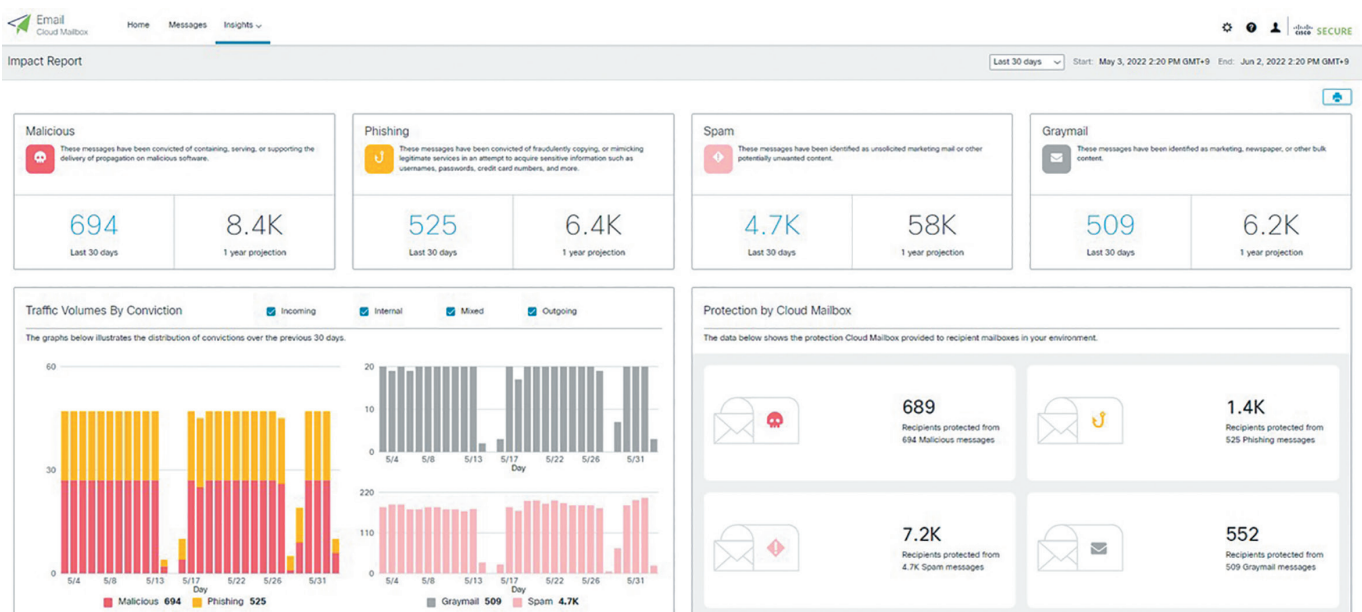
高度なメッセージスキャンによる脅威の検出

メールボックス上のメールに対して様々なスキャンを実施し、脅威が検出されたメールを隔離します。



直感的なレポート画面

スキャン結果からグラフィカルなレポートを生成され、社内メールの健全性を直感的に把握することが可能です。

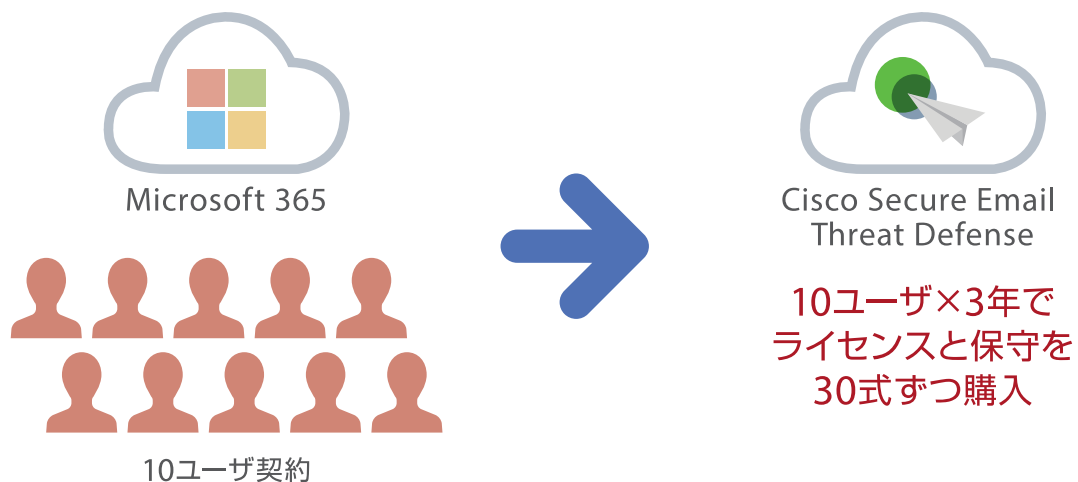


Cisco Secure Email Threat Defenseの機能概要

クラウドセキュリティのライセンス

発注するシート数(ライセンス数)は、保護する Microsoft 365 の契約ユーザ数と同数である必要があります。
 なお、ユーザが所有するデバイスやメールボックスの数には影響されません。

<例> Microsoft 365の契約が10ユーザの環境でCisco Secure Email Threat Defenseを3年利用する場合



Cisco Secure Email Threat Defenseの価格早見表

※Cisco Secure Email Threat Defenseのライセンスは1ユーザから購入可能。
 ※購入するユーザ規模と年数によって同じ型番でも価格が変動します。
 ※価格は1ユーザ/年のDIS定価です。

Cisco Secure Email Threat Defense(型番:CMD-ESS-LIC)

同時購入ユーザー数						
1～99	100～499	500～999	1000～4999	5000～9999	10000～24999	25000～
¥4,470	¥4,390	¥4,300	¥4,260	¥4,030	¥3,860	¥3,380

ダイワボウ情報システム株式会社

<http://www.pc-daiwabo.co.jp>

▽ 全国に広がるDISネットワーク

お問い合わせはDISの各支店まで

▽ 北海道エリア

札幌支店 011-242-4236
旭川営業所 0166-27-0022
函館営業所 0138-51-5769
帯広営業所 0155-25-8750

▽ 東北エリア

青森支店 017-732-5503
盛岡支店 019-651-8212
仙台第1支店 022-212-6450
仙台第2支店 022-212-6430
秋田支店 018-831-8021
山形支店 023-627-7222
郡山支店 024-939-5525

▽ 関東エリア

茨城支店 029-835-0811
宇都宮支店 028-610-8858
高崎支店 027-328-6450
さいたま第1支店 048-640-1985
さいたま第2支店 048-640-1987
千葉支店 043-274-7341
横浜第1支店 045-440-5615
横浜第2支店 045-440-5637

▽ 東京エリア

東京第1支店 03-3556-2613
東京第2支店 03-6256-8482
東京第3支店 03-3556-2611
東京第4支店 03-3556-2614
東東京第1支店 03-5746-6422
東東京第2支店 03-5746-6311
東東京第3支店 03-5746-6333
東東京第4支店 03-5746-6214
西東京第1支店 03-5321-7558
西東京第2支店 03-5321-7672
西東京第3支店 03-5321-7673
立川支店 042-528-6811
南東京第1支店 03-5746-6227
南東京第2支店 03-5746-6474
南東京第3支店 03-5746-6334
中央東京第1支店 03-5746-6308
中央東京第2支店 03-5746-6323
中央東京第3支店 03-5746-6331
中央東京第4支店 03-5746-6434
港東京第1支店 03-5746-6321
港東京第2支店 03-5746-6335
港東京第3支店 03-5746-6207
コンシューマ第1支店 03-5746-6421
コンシューマ第2支店 03-5746-6424
モバイルビジネスグループ
03-5746-6289
ポータルコミュニケーショングループ
03-5746-6463
キャリアビジネス第1支店
03-5746-6297
キャリアビジネス第2支店
03-5746-6391
キャリアビジネス推進グループ
03-5746-6297

▽ 中部エリア

新潟支店 025-240-0161
長岡営業所 0258-31-2351
富山支店 076-444-1260
金沢支店 076-263-2461
福井支店 0776-28-0955
甲府支店 055-221-3350
松本支店 0263-31-8722
長野支店 026-291-8544
岐阜支店 058-265-5418
静岡支店 054-202-0325
浜松支店 053-456-0661
名古屋第1支店 052-202-6371
名古屋第2支店 052-202-6372
名古屋第3支店 052-202-6378
名古屋第4支店 052-202-6381
四日市支店 059-352-0448

▽ 関西エリア

中央大阪第1支店 06-4707-8131
中央大阪第2支店 06-4707-8135
中央大阪第3支店 06-4707-8137
中央大阪第4支店 06-4707-8134
中央大阪第5支店 06-4707-8132
中央大阪第6支店 06-4707-8136
中央大阪第7支店 06-4707-8185
関西第1支店 06-4707-8138
関西第2支店 06-4707-8109
関西第3支店 06-4707-8186
コンシューマ第3支店
06-4707-8030
キャリアビジネス第3支店
06-4707-8133
京都支店 075-253-0170
神戸支店 078-392-2650
姫路支店 079-288-6881
滋賀支店 077-510-1633
和歌山支店 073-425-2371

▽ 中国エリア

鳥取支店 0857-37-1230
松江支店 0852-27-1621
岡山支店 086-235-1710
広島第1支店 082-511-7735
広島第2支店 082-511-7736
山口支店 083-974-5060
徳島支店 088-622-9821
高松支店 087-811-0232
松山支店 089-947-6379
高知支店 088-820-5510

▽ 九州・沖縄エリア

福岡第1支店 092-433-5621
福岡第2支店 092-433-5630
福岡第3支店 092-433-5622
北九州支店 093-512-6760
佐賀支店 0952-22-2171
長崎支店 095-829-0266
熊本支店 096-211-8501
大分支店 097-538-9230
宮崎支店 0985-35-8715
鹿児島支店 099-227-2071
沖縄支店 098-860-0530

本カタログの内容は2025年4月現在の情報です。

本カタログに記載された製品・製品コードならびにサービスの内容は、改良等の目的で予告無く変更する場合があります。

※ガイドに掲載している製品コードは、予告なく変更となる場合がございます。予めご了承くださいませようお願いします。